

## 第4回実行委員会の報告

### 山本会長あいさつ

皆さんこんにちは。本日、約半年ぶりの実行委員会ということで、皆さんの元気なお顔にまたお会いできとても嬉しく思います。本日は今までの計画議案の報告ということで、1年間の締めという形になるかと思えます。皆さん新しい年を迎えるにあたっていろいろ目標を立てられたのかなと思うのですが、私も個人的な目標としまして、1番自分が苦手なことを今年1つ克服のため、年当初目標を立てました。(中略)1年間経った時にまた自分が成長できればなどということで、今年迎えております。こういうふうに向きに自分もいろいろ大人になっても行動を改善できるというのは、自分の子どもたちを見ているおかげかなというふうに思っております。身近に成長している人間を見ていると、やはり自分も成長したいなというふうに思っています。

最終実行委員会ということで忌憚のない皆さんのご意見をお聞かせいただきながら、いい会議にしていきたいなと思っております。本日も1日よろしくお願ひいたします。

### 山田副校長あいさつ

まず、研究会では大変お世話になりました。ありがとうございました。おかげさまで全国から、のべ約2000名の参会者を得て、2日間を終えることができました。当日、様々な場所でお仕事をお願いしたおうちの方もいらっしゃいましたし、当日にはおいでになられなくても、それまでの様々な職員の研究業務にサポートしていただいたのだと思っています。心から感謝申し上げます。

次に、1月の真ん中くらいにお便りを出した、給食室で働いていただく調理員の方の件です。調理業務というのは、ある一定量必要なのだけれども、なかなか人が集まらなくて調理員さんが足りなくなっている現状があります。今のところ見通しは立っているのですが、今後本当に大丈夫かというのはまだまだ予断を許さないので、慎重にやっつけていかないといけないなと思っております。

さらに、国立教員養成大学学部大学院附属学校の改革に関する有識者会議、文部科学省の会議なのですが、昨年8月29日に報告書を出しました。簡単に言うと、少子化で子どもが減って教員も減っていく時代の附属学校の在り方について問われています。そのような中でも附属が担っている役割は大きいものがありますので、なんとかして附属のよさとか必要性を訴えていきたいなと思っております。10年後も20年後も今のままの附属学校でいられるかということ、絶対に大丈夫とは言いきれません。いずれにせよこのことについては本当に気を付けながら慎重に対応していかなければならないと思っています。

最後に、先ほどの有識者会議のところでも指摘を受けているのですが、働き方改革の波が押し寄せています。これは附属だけではなくて公立校もみんなそうです。新潟市も県もその対策に入っています。もちろん職員の健康を守ることも大事なことのだけれども、附属がやっている教育の質、価値ある研究を低下させないでいかに働き方改革ということに対応していくのか、これも十分考えなければいけないと思っています。保護者の皆様からいい知恵があったらいただきたいというふうに思っています。

# 夢工房

## 父母教師会だより

平成30年3月20日(火)

### 第4回父母教師会実行委員会の次第

- 1 会長あいさつ
- 2 副校長あいさつ
- 3 協議
  - (1) 学年・学級行事の活動報告について
  - (2) 常任委員会の事業報告について
  - (3) 平成30年度役員選出について
  - (4) その他(卒業式の祝詞について)
- 4 附属新潟小の未来を語ろう「ドリーム☆ミーティング」
- 5 連絡
  - (1) 年度末・年度初めの予定について
  - (2) 実行委員会ファイルのお願い
  - (3) 反省慰労会について
- 6 副会長あいさつ

### ドリーム☆ミーティング

父母教師会執行部、学年・学級委員長、常任委員会委員長、学校職員(副校長・教頭・主幹)のみなで、附属新潟小学校の子どもたちの現状や問題点、改善策を話し合う「ドリーム☆ミーティング」を行いました。今回で今年度は2回目です。今回のテーマは…

**子どもたちのルールやマナーを守る意識(特に登下校やタブレット端末等)を高めるために、学校や家庭で何をすればよいのか。**

#### 【登下校について】

- 今年度の生活委員会の取組はよかった。3、6年生が使用したストラップは、子どもたちの意識を高める効果があった。
- 登下校マナーは、公立校の「安全指導(横断歩道の旗当番)」のように、保護者のかかわりが重要である。
- 子どもにバスマナーを守っているかどうか聞くと、子どもは守っていると答えるが、本当かどうか心配。
- 親が自分の子どもと一緒にバスに乗って、しっかりと指導しなければいけない。
- 生活委員会だけでなく、図書ボラやグリーンボランティアのように、登下校ボランティアを募って、多くの保護者の目で子どもたちの登下校指導をするとういのではないか。
- 今年度も、学校では全校朝会や学級指導で登下校マナー(特に、バスマナー)について繰り返し指導してきた。定期的に職員がバスに乗って指導もしてきた。徐々に登下校マナーがよくなっていると感じるものの、まだまだである。
- バスマナーに限らず、登下校の様子や学校の様子など、子どもの話をしっかりと聞くことが大切である。
- 集団になるとマナーを守れない子どもが増える。悪いことに流されない強い心を育てたい。

#### 【タブレット端末について】

ルールが守れていない現状が報告されました。ここでは、各ご家庭での取組について紹介します。

- 子どもがタブレット端末を個人で所有しているのではなく、親が購入した親のタブレット端末を子どもに貸しているのである。そのため、子どもの好き勝手には使わせない。インターネット利用等の管理がしやすい。
- タブレット端末は、親が見えるところ(リビング等)でしか使用させていない。
- タイマーでセットして、使用時間を守らせている。
- 毎回、タブレット端末を持ち帰ってきた際に、中を確認している。
- パスワードを子どもには教えません。
- 間違えたことをしている子どもの話を聞いたときには、我が子にどうしているのか、どう思うのかと聞き、子どもの話をしっかりと聞くようにしている。

ドリーム☆ミーティングを終えて、「誘惑に負けない、人に流されない強い心を育てる」ことが大切だと感じました。そうすれば、きっとルールやマナーを守る意識が高まるのではないのでしょうか。「学校が…」「家庭が…」ではなく、「学校でも」「家庭でも」連携した指導が大切ですね。  
(主幹教諭 山形)



### 山田副会長あいさつ

皆様、慎重審議ありがとうございました。本日の議題で心に残りましたのは、山田副校長先生の文科省の有識者会議のお話です。それで思い出したのが、2003年の東京大学の入試過去問で「円周率が3.05以上であることを証明せよ」です。私の世代ですと小学校で円周率は3.14と覚えるだけですが、ここでは円を滑らかな多角形と捉え、その円に内接する多角形、正二十八角形くらいのを想像してその多角形の周率を求めるとだいたい3.06になります。多角形でも3.06だから円周率というのは3.05以上という話です。

何を言いたいかと言いますと、小学校で習うことというのは大学まで通じていくもので、小学校で習う事を深く考える事はとても大事という事です。そういう意味でこのような機会にブレインストーミングで皆さんで改善していくということが、知識レベルのみでなく子どもたちの人づくりにまで昇華できれば文科省の勧告についても良い意味で前向きに受け止めて対応できるのではないかと考えた次第です。

今後とも父母教師会をよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。